

各情報の取得方法

HSM のシリアル番号	《LunaCA3》 ・HSM の背面の表示、もしくは ・「 <u>lunadiag</u> 」 -> 「 <u>11 Token Info Test</u> 」 で出力される "Token Serial Number"、もしくは ・ユーティリティ 「 <u>enabler</u> 」 起動時に表示される "Serial Number"
	《LunaSA,LunaSP》 ・HSM 筐体側面のシール表示、もしくは ・Lunash 上で「 <u>hsm showPolicies</u> 」 または 「 <u>hsm show</u> 」 で出力される "Serial #"
	《LunaPCI》 ・HSM の表面の表示、もしくは ・「 <u>lunadiag</u> 」 -> 「 <u>11 Token Info Test</u> 」 で出力される "Token Serial Number"、もしくは ・ユーティリティ 「 <u>lunapci</u> 」 起動時に表示される "Serial Number"
	《LunaPCM》 ・HSM の背面の表示、もしくは ・「 <u>lunadiag</u> 」 -> 「 <u>11 Token Info Test</u> 」 で出力される "Token Serial Number"、もしくは ・ユーティリティ 「 <u>lunacm</u> 」 起動時に表示される "Serial Number"
サーバ(側)のソフトウェアバージョン	《モデル共通》 ソフトウェア CD に、“Release ?? ” と書かれていますのでこの番号をご確認ください。 CD が無い場合、以下の方法でご確認ください。
	《モデル共通/Windows》 「スタートメニュー」 「コントロールパネル」 「プログラムの追加と削除」 にて表示される番号
	《LunaCA3》 「 <u>pkginfo x lunasys</u> (もしくは <u>lunasdk</u>)」 にて表示されるバージョン番号
	《LunaSA/Linux》 /usr/lunasa/bin/uninstall.sh 内の先頭 5 行目程度までに表示される以下のような番号 VERSION="3.2.0"; RELEASE="0";
	《LunaSA/Solaris,AIX》 ・ /usr/lunasa/bin/uninstall.sh 内の先頭 5 行目程度までに表示される以下のような番号 VERSION="3.2.0"; RELEASE="0"; もしくは ・「 <u>vtl su</u> 」で出力される <u>c_supportInfo.txt</u> 内の <u>lunilib</u> のバージョン表記(v3.1 以降)
	《LunaSA/HPUX》 ・ /opt/lunasa/bin/uninst.sh 内の先頭 5 行目程度までに表示される以下のような番号 VERSION="3.2.0"; RELEASE="0"; もしくは 「 <u>vtl su</u> 」で出力される <u>c_supportInfo.txt</u> 内の <u>lunilib</u> のバージョン表記(v3.1 以降)
	《LunaPCI,LunaPCM/Linux》 ユーティリティ 「 <u>lunapci</u> 」 もしくは 「 <u>lunacm</u> 」 起動直後に表示される番号 表示例) Luna PCI Management Tool V1.2 - Copyright (c) 2004 SafeNet, Inc.
HSM 本体側のソフトウェア/ファームウェアバージョン	《LunaCA3》 ファームウェア 「 <u>lunadiag</u> 」 -> 「 <u>4 Read Firmware Level</u> 」 で出力される番号
	《LunaSA,LunaSP》 ソフトウェア Lunash へ admin でログインした直後に表示される番号 表示例) Luna Command Line Shell v3.2.4-0 - (c) 2004 SafeNet, Inc. All rights reserved.
	《LunaSA,LunaSP》 ファームウェア Lunash 上で「 <u>hsm showPolicies</u> 」 または 「 <u>hsm show</u> 」 で出力される "Firmware"
	《LunaSA,LunaSP 用バックアップトークン》 ファームウェア Lunash 上で「 <u>token show</u> 」 で出力される "Token Firmware"
	《LunaPCI》 ファームウェア ・「 <u>lunadiag</u> 」 -> 「 <u>4 Read Firmware Level</u> 」 で出力される番号、もしくは ・ユーティリティ 「 <u>lunapci</u> 」 起動時に表示される "HSM Firmware Version"

	<p>《LunaPCM》 ファームウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>lunadiag</u>」 -> 「4 Read Firmware Level」で出力される番号、もしくは ・ユーティリティ「<u>lunacm</u>」起動時に表示される "HSM Firmware Version"
サーバ設定情報	<p>《LunaCA3/Windows》 c:%WINNT%\crystoki.ini</p> <p>《LunaSA/Windows》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・c:%Program Files%\LunaSA%\crystoki.in、もしくは ・「<u>vtl su</u>」で出力されるファイル c_supportInfo.txt (ソフトウェア v3.1 以降) <p>《LunaPCI/Windows》 c:%Program Files%\LunaPCI%\crystoki.ini</p> <p>《LunaPCM/Windows》 c:%Program Files%\LunaPCM%\crystoki.ini</p> <p>補足) 上記ドライブやパス名は、ソフトウェアをインストールしたそれにあわせて、適宜読み替えてください。</p> <p>《LunaSA/Windows 以外》 /etc/Chrystoki.conf、もしくは</p> <p>「<u>vtl su</u>」で出力されるファイル c_supportInfo.txt (ソフトウェア v3.1 以降)</p> <p>注)Linux 向けソフトウェア v3.2.0 の <u>vtl su</u> コマンドには不具合があり、コマンドが終了しません。Ctrl+C で強制終了させて、生成された c_supportInfo.txt を取得願います。</p> <p>《LunaPCI,LunaPCM/Linux》 /etc/Chrystoki.conf</p>
HSM ログ	<p>《LunaCA3,LunaPCI,LunaPCM》</p> <p>「<u>lunadiag</u>」のサブメニュー 2番から 12番までの出力結果をテキストファイルで取得願います。</p> <p>注 1)lunadiag サブメニューの 9番 10番目のデータはメモリダンプのため、問題発生直後に取得いただくのが望ましいです。</p> <p>注 2)上記ログにはパスワード情報ならびに PIN 情報は載りません。</p> <p>《LunaSA,LunaSP》</p> <p>Lunash 上で「<u>syslog e</u>」で生成される syslog と、「<u>hsm su</u>」で生成される supportInfo.txt をサーバ経由で取得ください。</p> <p>注 1) supportInfo.txt はメモリダンプのため、問題発生直後に取得いただくのが望ましいです。</p> <p>注 2)上記ログにはパスワード情報ならびに PIN 情報は載りません。</p>